

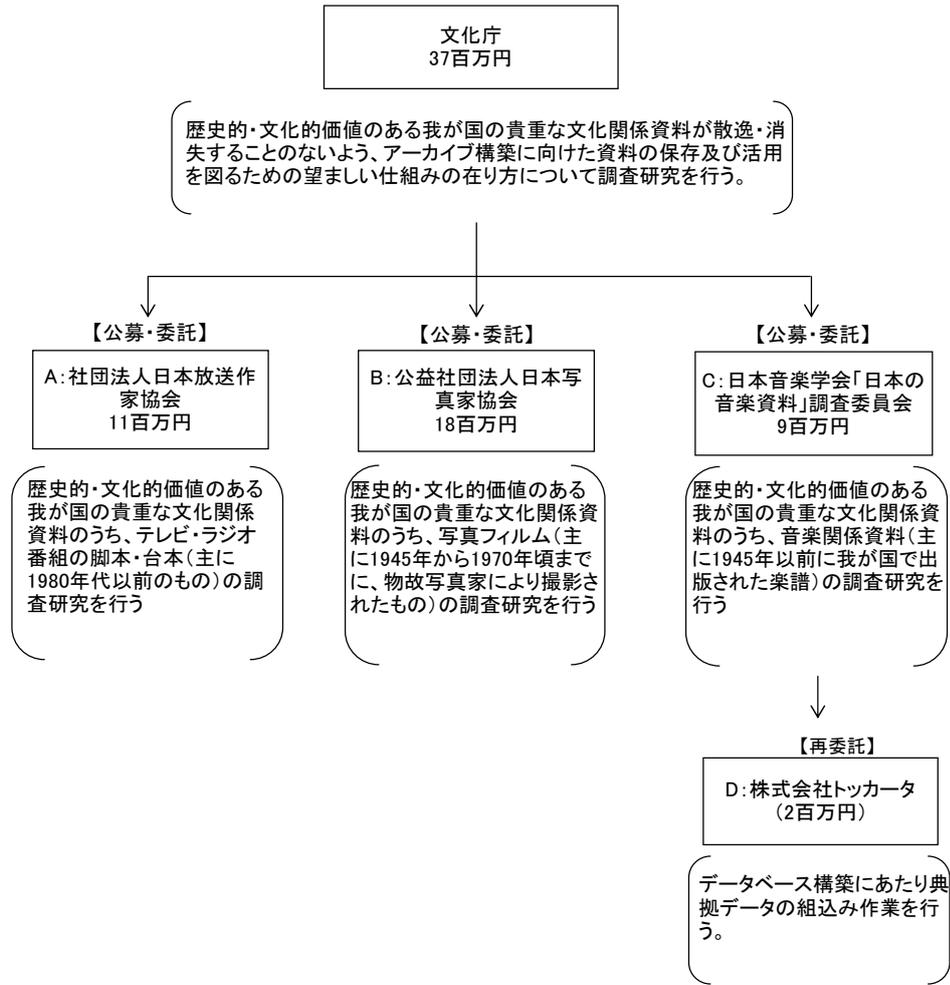
平成24年行政事業レビューシート

(文部科学省)

事業名	文化関係資料のアーカイブの構築に関する調査研究		担当部局庁	文化庁		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成23年度		担当課室	文化部芸術文化課		芸術文化課長 舟橋 徹	
会計区分	一般会計		施策名	XⅢ-4 文化芸術振興のための基盤の充実			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	-			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	歴史的・文化的価値のある我が国の貴重な文化関係資料が散逸・消失することのないよう、アーカイブ構築に向けた資料の保存及び活用を図るための望ましい仕組みの在り方について調査研究を行う。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	上記の目的を達成するため、我が国の貴重な文化関係資料のうち、①テレビ・ラジオ番組の脚本・台本(主に1980年代以前のもの)、②写真フィルム(主に1945年から1970年頃までに、物故写真家により撮影されたもの)、③音楽関係資料(主に1945年以前に我が国で出版された楽譜)、の各分野ごとに調査研究を行い、目録の作成、目録及び資料のデジタル化、目録や資料の公開に係る課題と具体的方策の調査研究、委員会の開催、報告書の作成を行う。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求
		補正予算			40	40	40
		繰越し等			-	-	
		計			40	40	40
	執行額			37			
	執行率(%)			91.5%			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値(年度)
	文化関係資料のアーカイブを構築するための仕組みを提案する。			成果実績	-	-	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	文化関係資料の所在情報の把握や情報整理等の調査研究を実施する。			活動実績(当初見込み)	-	-	-
単位当たりコスト	-		(円/)	算出根拠		-	
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	諸謝金	1百万円	1百万円				
	委員等旅費	1百万円	1百万円				
	庁費	1百万円	1百万円				
	文化芸術振興委託費	38百万円	37百万円				
	計	40百万円	40百万円				
					※表示単位未満四捨五入の関係で、積み上げと合計は一致しない		

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	・文化芸術振興基本法において、文化芸術分野の資料等については所在情報の収集や所蔵作品の目録(資料台帳)の整備を進めることが定義されている。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・用途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	・委託先の選定は、競争性を確保するため、公募による企画競争により実施しており、応募案件について、外部有識者等で構成する選定委員により複数の項目を5段階で評価し、上位の点数を獲得した者を委託者に決定している。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	・各調査研究については、実施内容及び実績の確認に努めており、いずれも採択時の見込みに見合った研究調査となっている。 ・各調査研究結果については、文化関係資料の保存及び活用の具体的方策を検討するために活用されている。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	—	※類似事業名とその所管部局・府省名	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	当調査研究は歴史的・文化的価値のある我が国の貴重な文化関係資料のうち、特に緊要性の高い分野(脚本、写真、音楽)の資料が散逸・消失することがないように実施している事業であり、会計面においても適切に実施されている。これら文化関係資料のアーカイブ構築に向けた資料の保存及び活用を図るために、本事業を実施する意義は非常に大きいことから、今後とも適切に事業を実施していく必要がある。		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	1. 事業評価の観点: 本事業は、歴史的・文化的価値のある我が国の貴重な文化関係資料が散逸・消失することのないよう、アーカイブ構築に向けた資料の保存及び活用を図るための望ましい仕組みの在り方について調査研究を行う事業であり、事業成果等の観点から検証を行った。 2. 所見: 本事業は、概ね計画通りに予算執行されたものと考えられるが、アーカイブ構築にかかる検討内容等を踏まえた事業の成果指標の適切な設定により、データベース構築等の計画策定を適切に行うとともに、更なる事業の効率化を目指し、積算単価を再検証するなどコストの削減にも努めるべきである。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
縮減	これまでの事業成果の検証により、モデル分野における資料の所在情報等の調査研究の結果、一定量の情報収集が出来ている。平成25年度においては、収集された情報を元に、データベースのプロトタイプを用いて、情報の公開方法、資料の保存方法のための課題等の検討を行い、次年度において、各分野の特性に見合う望ましいアーカイブの在り方について目標設定を行う。また事業費の効率化の観点から委員会運営費の経費削減を図り、概算要求に▲0.3百万円反映した。		
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	—	平成23年行政事業レビュー	新23-0088

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する)(単位:
百万円)



※ 表示単位未満四捨五入の関係で、積み上げと合計は一致しない

費目・使途 （「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載）	A.社団法人日本放送作家協会			C.日本音楽学会「日本の音楽資料」調査委員会		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	人件費	調査員人件費	4	諸謝金	原稿執筆謝金、会議出席謝金等	4
	諸謝金	原稿執筆謝金、会議出席謝金等	3	雑役務費	印刷費等	2
	旅費	国内旅費	1	再委託費	データ処理作業	2
	雑役務費	印刷費等	1	その他	国内旅費、通信運搬費、借損料等	1
	その他	会場室使用料、通信運搬費、会議費等	1			
	一般管理費		1			
	計		11	計		9
B.公益社団法人日本写真家協会			D.株式会社トッカータ			
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)	
諸謝金	原稿執筆謝金、会議出席謝金等	6	雑役務費	システム設計等	2	
雑役務費	印刷費等	6				
借損料	会場室使用料等	3				
その他	国内旅費、消耗品費、会議費等	2				
一般管理費		1				
計		18	計		2	

支出先上位10者リスト

A.社団法人日本放送作家協会

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	社団法人日本放送作家協会	文化関係資料のアーカイブの構築に関する調査研究	11	企画競争	—

B.公益社団法人日本写真家協会

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	公益社団法人日本写真家協会	文化関係資料のアーカイブの構築に関する調査研究	18	企画競争	—

C.日本音楽学会「日本の音楽資料」調査委員会

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	日本音楽学会「日本の音楽資料」調査委員会	文化関係資料のアーカイブの構築に関する調査研究	9	企画競争	—

D.株式会社トッカータ

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社トッカータ	文化関係資料のアーカイブの構築に関する調査研究	2	—	—

※再委託